麻しん・風しん対応医療機関チェックリスト

1	診察時の南丹保健所への連絡
	麻しん または 風しんの届出基準の3つすべてを満たしている。
	麻しん
	□ 麻しんに特徴的な発疹 □ 全身性の小紅斑や紅色丘疹
	□ 発熱(一般的に 37.5°C以上)□ 発熱(一般的に 37.5°C以上)
	□ 咳嗽、鼻汁、結膜充血などのカタル症状 □ リンパ節腫脹
	発生届を保健所に提出(FAX)し、電話にて報告した。
2	検査
	自院にて IgM 抗体検査を実施した。
	IgM 抗体検査の結果を保健所へ報告した。
	行政検査のための3つの検体(咽頭ぬぐい液、血液(全血)、尿)を採取した。
	適切な検体容器に入れた。
3	検体・検査票の回収
	検体を適切に保管した。(冷蔵4°C)
	検体が採取できたことを保健所に連絡した。
	病原体検査票を作成し、保健所へ提出した。
4	患者情報の確認(聞き取り内容)
	以下の項目を問診した。
	□年齢、性別、妊娠の有無、家族構成 □電話番号(自宅及び携帯電話) □所属(学校、職場等) □予防接種歴(回数・時期・ワクチンの種類)
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	□海外渡航歴や流行地域への渡航
5	患者への説明内容
	感染可能期間中の外出自粛について患者(家族)へ説明した。
	保健所から患者(家族)へ連絡が入ることを説明した。
6	検査結果報告
	検査結果を保健所から報告を受けた。